

TOTO

リモデル便器

BM

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
△注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

△ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。	! は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	--

△注意

禁止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してかがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
必ず実行	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する正常な取り付けができなくなる可能性があります。 設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

排水ソケットセットとしてご購入いただいた場合		
排水アジャスター	固定金具類	化粧キャップ類
便器接続部(1個) ※ゴムジョイント付き	固定片(1個) 木ねじ(固定片用)(φ5×50:2本)	ワッシャー(後固定用)(2枚) 木ねじ(後固定用)(φ4.8×90:2本)
横引管(1個)	Tボルト(2本) 皿木ねじ(前固定用)(φ5.8×56:1本)	木ねじ(便器接続部用)(φ5×50:2本)
フランジ接続部(1個)		
便器セットとしてご購入いただいた場合		
便器本体	化粧キャップ類	その他
(1個)	化粧キャップ(前固定用)(1個) 化粧キャップ(後固定用)(2個)	Pシール
		金属フランジ用樹脂フランジ用(1個)
		その他
掃除口ふた部品(掃除口付きの場合)		
バッキン(1個)	ボルト一体型止め金具(1個)	ふた本体(1個)
		C形座金(1枚)
		施工説明書(1部)
		位置決めシート(1枚)

使用工具 (別途ご準備ください)

六角棒スパナ(呼び径4)
※掃除口取り付け用



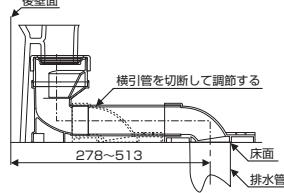
取り付け前のご注意

- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようにしてください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時) : 0.05MPa、最高水圧(静止時) : 0.75MPaです。
この圧力範囲でご使用ください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 便器洗浄付のウォシュレット、またはリモコン便器洗浄ユニットを設置する場合は、必ず専用品を選定ください。
専用品以外の場合、便器洗浄機能が正常に作動しません。
【専用品】 便器洗浄付ウォシュレット : TCF***EAK
リモコン便器洗浄ユニット : HE30系
- 掃除口付きの場合は、メンテナンスのために便器中心から横壁まで375mm(作業可能な最小寸法)以上の空間を設けてください。
なお、TOTOが推奨する標準寸法は400mmとなります。
- 施工前には、埋設されている給水配管などの破損を防止するため、位置を確認してください。
- 排水アジャスターを組み立てる際は、塩ビ用接着剤を周囲に十分塗布し、最後まできちんと押し込んでください。水漏れのおそれがあります。

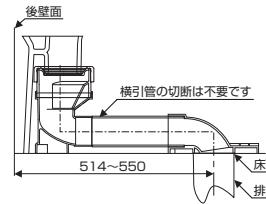


■排水心の確認

- 排水心278~513mmの場合
横引管を排水心にあわせて切斷し、塩ビ接着剤で確実に接続してください。
※排水心278mmの場合、横引管は不要です。

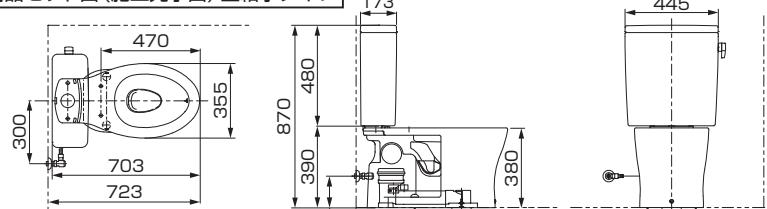


- 排水心514~550mmの場合
横引管の切斷は不要です。
便器を前にずらして施工してください。

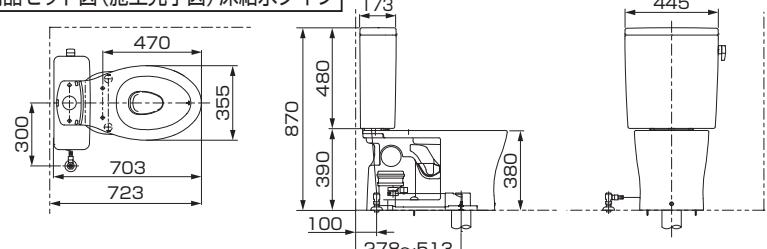


例) C730からの取り替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため便器と壁とのすき間は約60mmとなります。

商品セット図(施工完了図) 壁給水タイプ

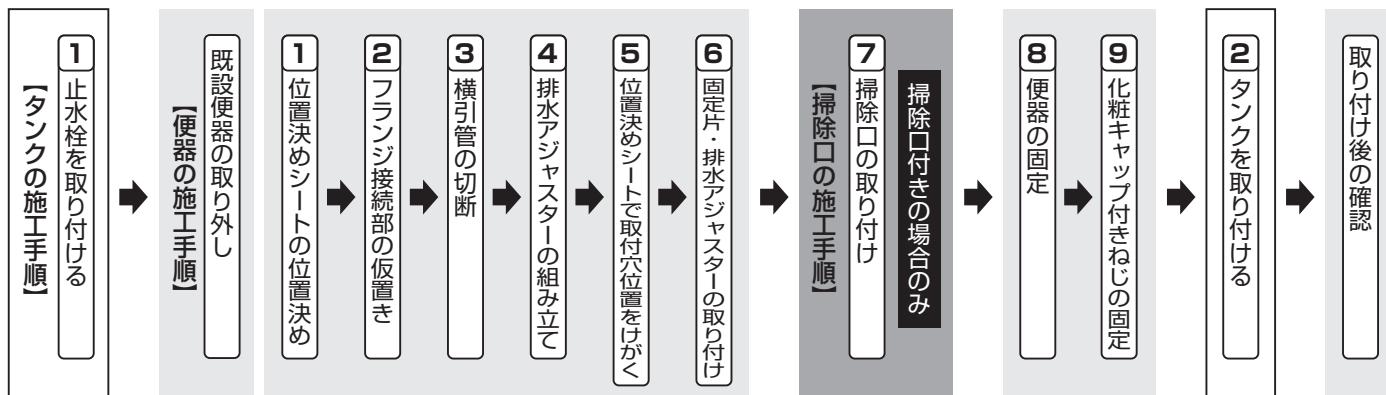


商品セット図(施工完了図) 床給水タイプ

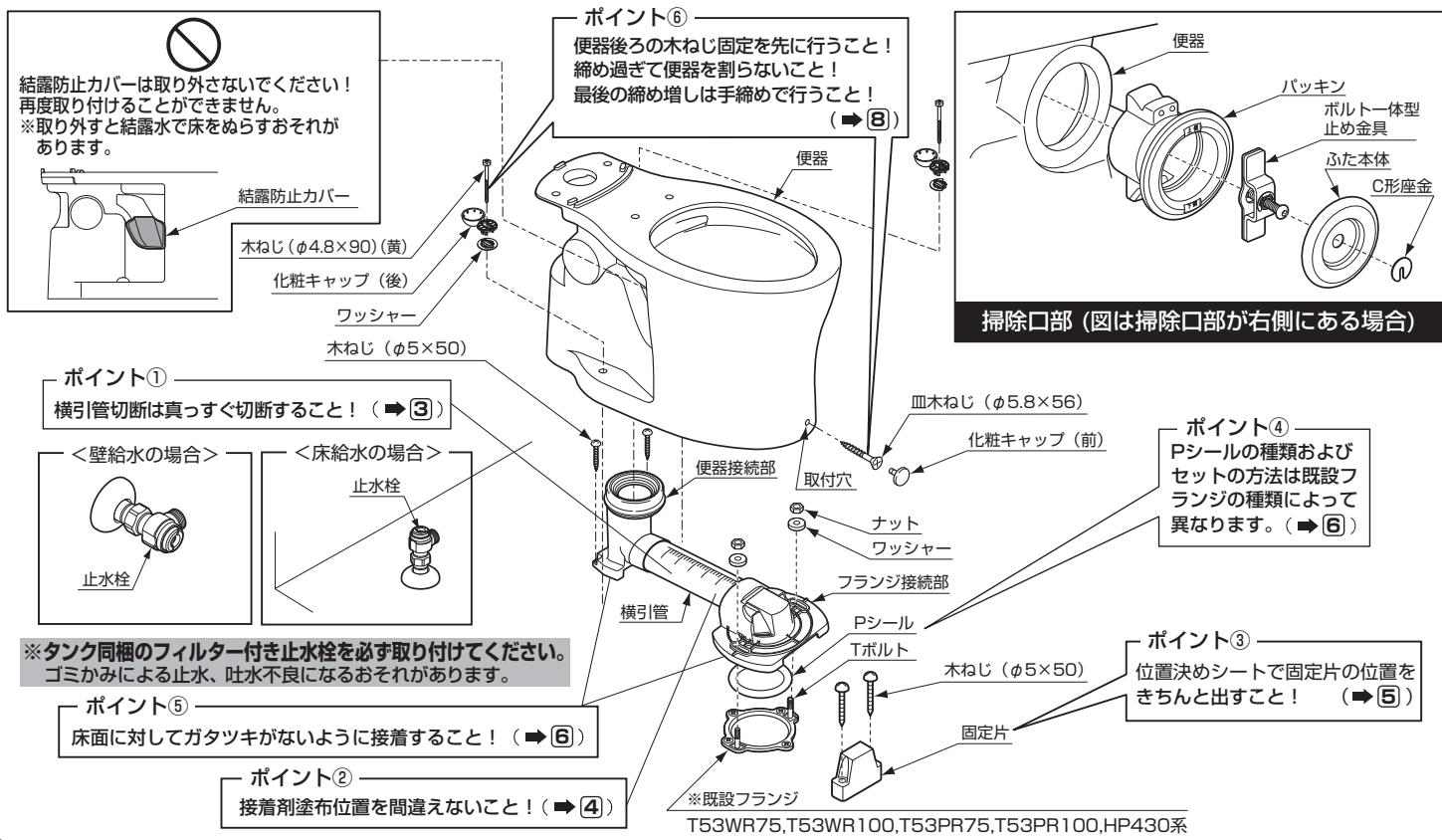


施工手順

この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。（■は本紙、□はタンク、■は掃除口の施工説明書を参照ください）



各部のなまえと施工のポイント



取り付け前に

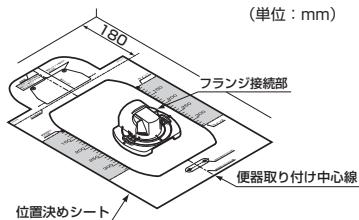
既設便器の取り外し

既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。

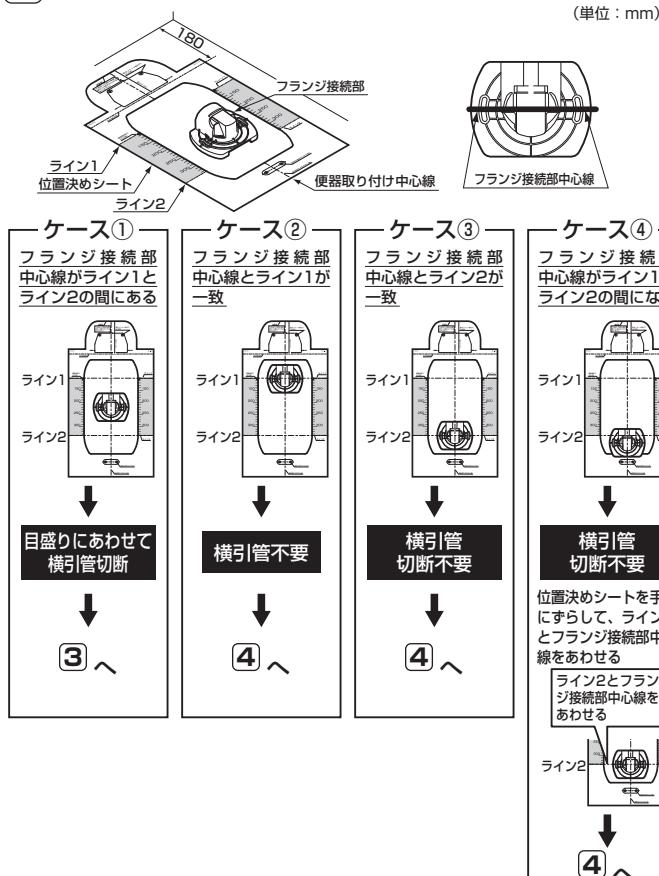
取付方法

1 位置決めシートの位置決め

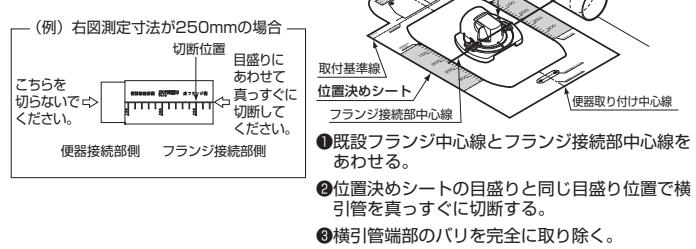
- ①給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますのでご注意ください。
- ②後壁面から180mmの位置に位置決めシートの取付基準線をあわせて置く。
※取付基準線の位置決めは左右の2力所で行ってください。



2 フランジ接続部の仮置き



3 横引管の切断



4 排水アジャスターの組み立て

△注意

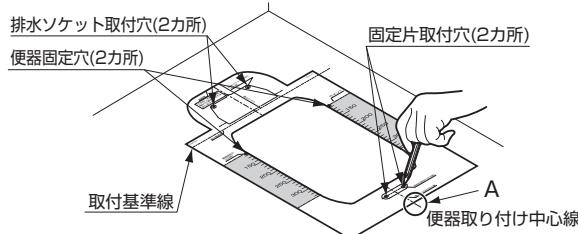


- ①塩ビ用接着剤を全周に十分塗布し、各中心をあわせるように組み立てる。
- 床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



5 位置決めシートで取付穴位置をけがく

- ①① あわせた位置に位置決めシートを置く。
- ②排水ソケット取付穴位置および固定片取付穴位置、便器固定穴位置（6力所）をけがく。
- ③鉛筆など（あとで消せるもの）で下図A（便器取り付け中心線）に印をつける。
- ④けいした取付穴位置にφ3程度の下穴をあける。
- ※φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。



6 固定片・排水アジャスターの取り付け

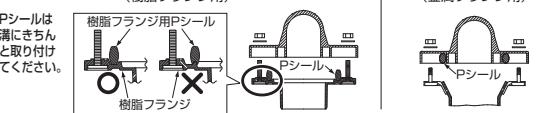
△注意

Pシール取り扱い上の注意

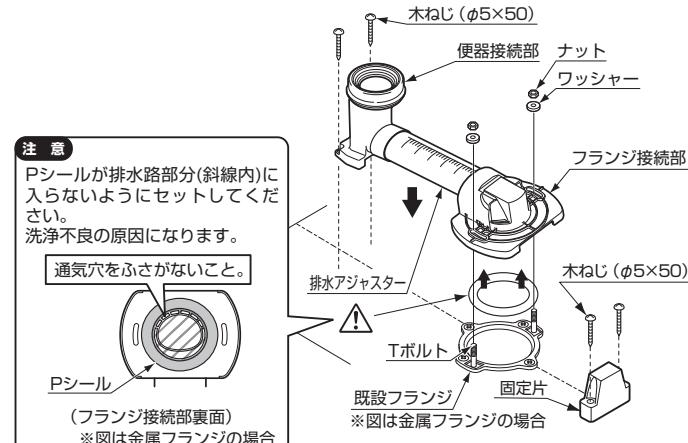
- 既設のフランジのタイプにあわせ、必ず同梱（再取り付け時は同品番）の金属フランジ用Pシール（補修品番：TH633）または、樹脂フランジ用Pシール（補修品番：TH633-3）を使用する
- 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する
Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行



- ①〈樹脂フランジの場合〉Pシール（樹脂フランジ用）をフランジにセットする。
〈金属フランジの場合〉Pシール（金属フランジ用）を排水アジャスターにセットする。
- ②排水アジャスターをフランジに押し付けてから、便器接続部の取付穴（2力所）に木ねじを入れ、確実に締める。
- ③フランジ接続部をワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- ④固定片を所定の位置にあわせて、木ねじで床に固定する。



7 掃除口の取り付け

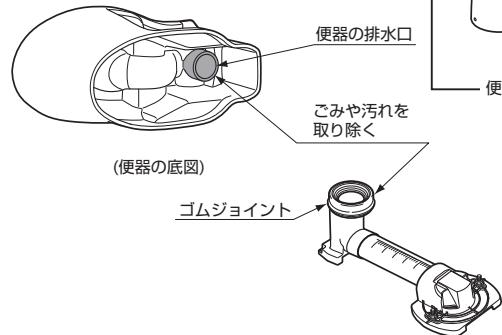
掃除口付きの場合

掃除口の取り付けは掃除口同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

8 便器の固定

①便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き、便器排水口を排水ソケットに差し込む。

※便器の持ちかたは右図を参考にしてください。



②便器後側の取付穴（2カ所）を木ねじ、ワッシャー、化粧キャップ（後）で固定する。

※締め過ぎて便器を割らないように注意してください。

③便器前側の取付穴に皿木ねじを差し込み、固定片に便器を固定し、ねじの頭に化粧キャップ（前）を差し込む。

※便器前側を固定する際は、床にけがいた印（図A）と便器前方の穴をあわせてください。

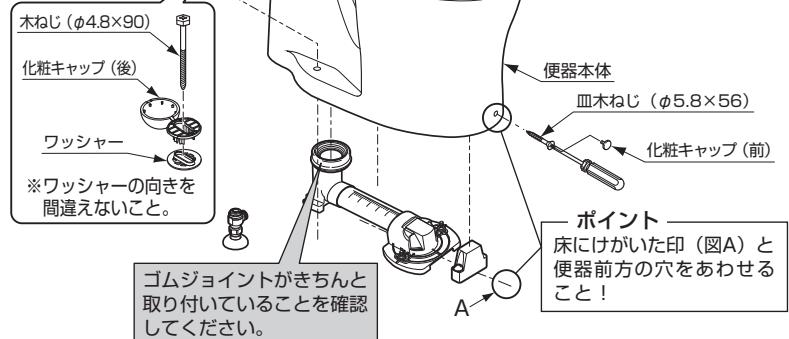
※最後の締め増しは、手締めにより便器を割らないように注意してください。

△注意



便器後部の固定を必ず先に行う

前側の固定を先に行うと便器が後方へスライドし、ゴムジョイント部から水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

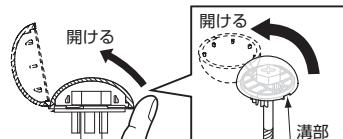


※壁面に幅木があり便器が取り付かない場合には、幅木をカットしてください。

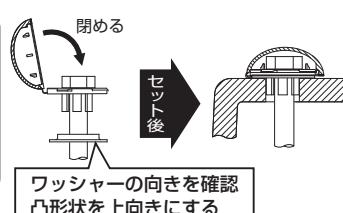
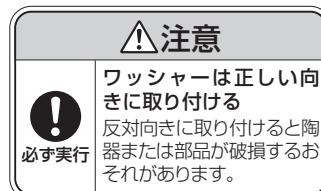
9 化粧キャップ付きねじの固定

<取り付けかた>

①化粧キャップを開け、木ねじを取り付ける。

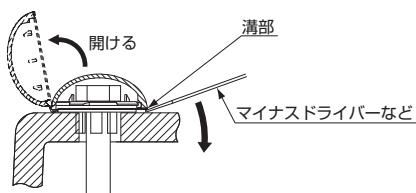


②化粧キャップを矢印の方向に曲げて、「パチッ」と音がするまで押し込む。



<取り外しかた>

マイナスドライバーなどを使用し、化粧キャップの溝部に差し込み、矢印の方向に押さえて開く。



タンクの取り付け

タンクの取り付けはタンク同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

取り付け後の確認

- ・試運転後は、すべての接続部において水漏れしていないか確認してください。取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- ・試運転（洗浄）後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- ・陶器表面に傷などがないことを確認してください。
陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。
スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- ・施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ（コーティング剤、配管用接着剤など）の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤（研磨剤なし）を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング（木質系）を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング（木質系）を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコーン系シール材（メジシール）を充てんすることをおすすめします。



※本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。